



2004年7月入職

みつはしけんた
三橋 健太

組織の仕組みも、改善していきたい

キャリアアップが実現できる仕事

ケアワーカーの仕事をはじめる前は、ハウスメーカーの営業をしていました。そこではバリアフリーやユニバーサルデザインなど住宅を扱っていて、少しずつ福祉に興味を持つようになったのが転職した理由です。丸8年間働いてみて思うのが、キャリアアップが実現できる仕事であるということ。ケアマネージャーをはじめ、この仕事に関連する資格はたくさんありますし、経験を重ねていけば役職に付くチャンスも増えていきます。私も入社して6年で主任になることができました。高齢化社会が進んでいく中では、ご利用者さまの数はますます多くなるでしょうし、比例してスタッフの数も必要になってくる。部下や後輩のマネジメントなどに関わる機会も増えていくのではないのでしょうか。



業務の効率化を心がけています



ご利用者さまの数が増えるということは、業務量も増えるということ。そうすると、流れ作業的に仕事をこなしてしまいがちになり、結果としてケアの質にも影響しかねません。ですから、スタッフに働きやすい環境を提供していくことも常に意識しています。たとえば書類にしても、改めて見直してみると、同じような事柄を数箇所にもわたって記入しなければならないフォーマットになっていました。これを1箇所にとめると、 unnecessaryな仕事をなくすことができる。このように、

なるべく業務を効率化させることを心がけています。

特にデイサービスであれば、ご利用者さまが滞在される時間は限られています。この時間を有効に使う意味でも、業務の簡素化は今後も推し進めていきたいですね。そこで生まれた時間は、レクリエーションの企画などに充てることもできますから。ご高齢の方が増えているとは言え、私たちはあくまでも選ばれる立場。継続してお越しいただける施設をつくるためには、組織の仕組みを改善していく姿勢も大切だと思っています。

ご利用者さまから、
「今日は楽しかった、来て良かった。」
と感じて頂ける場を作りたい。
三橋 健太